

実務経験のある教員による授業科目一覧

教員名	授業科目	シラバスID	授業時間	授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
飯島敬亮	レストランサービスⅡ	3	60	結婚式場での勤務経験からレストランサービス技能の技術を指導。
飯島敬亮	ブライダル概論	5	30	結婚式場でウェディングプランナー・スーパーバイザー・支配人の経験をもとに、ブライダルの基礎知識を指導。
飯島敬亮	ブライダルプロデュース	20	30	結婚式場でウェディングプランナー・スーパーバイザー・支配人の経験をもとに、プランニング実務の基礎について指導。
飯島敬亮	ブライダルコーディネートⅠ	6	30	結婚式場でウェディングプランナー・スーパーバイザー・支配人の経験をもとに、ウェディングプランナーとして必要な知識と技術を指導。
飯島敬亮	ブライダル総合Ⅰ	18	150	結婚式場でウェディングプランナー・スーパーバイザー・支配人の経験をもとに、挙式、披露宴の企画・演出・運営の方法を指導。
飯島敬亮	ブライダル総合Ⅱ	19	180	結婚式場でウェディングプランナー・スーパーバイザー・支配人の経験をもとに、職業観を養い、それを実現させるために必要なスキルを指導。
飯島敬亮	キャリアデザインⅠ	12	120	求人会社にて企業と採用についての提案。求職者に対して求められるスキルの指導をもとに、就職活動の必要事項を指導。
新妻竜	キャリアデザインⅡ	21	30	求人会社にて企業と採用についての提案。求職者に対して求められるスキルの指導をもとに、就職活動の必要事項を指導。
小澤陽子	ブライダルアート	8	30	フラワーショップ経営。結婚式場の装花やブーケなど制作を行ってきた。フラワーアレンジメントの基礎を季節の花を使用して指導。
南條朱美	ビューティーデザイン	9	30	カルチャースクールでメイク講師を行っている。ナチュラルメイクを中心にリクルートメイクを指導。
関容子				ネイルショップ経営しブライダルネイルも担当。ネイルケアとデコレートの基本を指導。
片川乃里子	ブライダル実務Ⅱ	27	30	アナウンサーとしてラジオ番組等に出演。結婚式の司会も数多く経験しており、その経験をもとに司会の技術を指導。
芹澤 照之	コンピュータ	13	60	税理士事務所において、税理士補助業務、税務申告書類およびビジネス文書の作成、会計データをはじめとした各種データ処理業務に従事。
芹澤 理恵	ホスピタリティ概論	23	40	流通業界および大手製薬メーカーでの事務、および個人事務所における秘書業務を担当。秘書として行うべき業務の基礎知識や接客・接遇におけるホスピタリティ・マナーをもとに接客サービス業に必要なとされるホスピタリティ・マインドを指導。
芹澤 理恵	サービス接遇	22	50	流通業界および大手製薬メーカーでの事務、および個人事務所における秘書業務を担当。秘書として行うべき業務の基礎知識や接客・接遇におけるホスピタリティ・マナーをもとに接客サービス業における接遇マナーや技術を指導。
芹澤 理恵	ビジネス実務	26	90	流通業界および大手製薬メーカーでの事務、および個人事務所における秘書業務を担当。秘書として行うべき業務の基礎知識や接客・接遇におけるホスピタリティ・マナーをもとにビジネス全般におけるマナーを指導。
授業時間合計			960	

授 業 概 要

シラバス ID 1

科目名 ホテルビジネス		授業の方法 <講義>	担当教員 新妻 竜 山形 風貴	実務経験 無し
授業回数 70	単位時間数 140	配当学年時期 1年・通年	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 ホテル業界で必要とされるホテルビジネス実務に関する知識を習得し、合わせて社会情勢に関する知識も習得する。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説と適宜確認問題の反復。</p> <p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定2級及び1級合格レベルの知識を習得し、その受験合格を目指す。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>1 概要 第1章</p> <p>2～8 第1章 ホテルの基礎</p> <p>9～13 第2章 宿泊部門</p> <p>14～19 第3章 料飲部門</p> <p>20～24 第4章 宴会部門</p> <p>25～29 第5章 調理部門</p> <p>30～44 復習問題 解説</p> <p>45 確認テスト</p> <p>46～50 総合復習 マーケティング部門の業務</p> <p>51～55 総合復習 総務・人事部門の業務</p> <p>56～60 総合復習 施設管理部門の業務</p> <p>61～65 総合復習 仕入・購買部門の業務</p> <p>62～69 総合復習 経理・会計部門の業務</p> <p>70～89 総合復習 解説</p> <p>90 試験</p>				
<p>【使用テキスト／出版社】 ホテルビジネス／日本ホテル教育センター</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 2

科目名 レストランサービス I		授業の方法 <講義>	担当教員 芹澤理恵	実務経験 なし
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 1年・後期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 レストランサービスや、法律、食品、フォーマルウェアに関する知識を身につけ、ホテルやブライダル業界に就職後職場で実践できるようにする。併せて、レストランサービス技能検定試験 3 級（筆記）の合格を目指す。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説と各章ごとに振り返りを行い知識の定着を図る。 また、答案練習と回答解説により検定対策も行う。</p> <p>【到達目標】 ホテルレストラン業務の基礎を学び、ホスピタリティやサービス知識、フォーマルウェアの知識を身につける。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 概要 2 国際習慣① 3 国際習慣② 4 国際習慣③ 5 国際習慣④ 6 国際習慣⑤ 7 国際習慣⑥ 8 国際習慣⑦ 9 接客の基本① 10 接客の基本② 11 食文化① 12 食文化② 13 食文化③ 14 食文化④ 15 試験 				
<p>【使用テキスト／出版社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西洋料理料飲接客サービス技法 ／日本ホテル・レストランサービス技能協会 ・ フォーマルウェア ルールブック ／一般社団法人日本フォーマル協会 		<p>【成績評価の方法・基準】</p> <p>評価試験を実施する。</p> <p>100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。</p> <p>不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 3

科目名 レストランサービスⅡ		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 飯島敬亮	実務経験 有り
授業回数 30	単位時間数 60	配当学年時期 1年・通年	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 レストランサービス士3級実技試験で必要とされるサービス技術の基本を身に付ける。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 実務を中心にテキスト・映像・レクチャーなどで個々にあったトレーニングを行う。</p> <p>【到達目標】 インターンシップで料飲サービスを実践できるレベルに到達することによりレストランサービス技能検定3級実技試験の基礎能力を養う。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>1 概要</p> <p>2 身だしなみ・動作前の確認</p> <p>3～10 モーニング パート演習</p> <p>11～29 モーニング 総合演習</p> <p>30 試験</p>				
<p>【使用テキスト／出版社】 レストランサービススタンダードマニュアル ／日本ホテル・レストラン技能協会</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、 50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 4

科目名 インターンシップ		授業の方法 <講義・実習>	担当教員 飯島敬亮	実務経験 無し
授業回数 120	単位時間数 240	配当学年時期 1年前期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 ホテル業務の理解 合せて、協調性、社会性を身に付ける。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 インターンシップ実習前までに新入社員研修レベルの事前準備を行う。インターンシップ実習中は実務研修など指定のプログラムに沿って能力を向上させ、合わせて各部署に配属され通常業務を学ぶ。</p> <p>【到達目標】 ホテル業務の習得 社会人としての心構え 寮生活をとおして、協調性と自立心を養う。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>1 概要</p> <p>2 研修先 下調べ①</p> <p>3 研修先 下調べ②</p> <p>4 研修先 下調べ③</p> <p>5 研修先 下調べ④</p> <p>6 研修先 書類作成①</p> <p>7 研修先 書類作成②</p> <p>8 研修先 書類作成③</p> <p>9 研修先 書類作成④</p> <p>10～119 インターンシップ実習 森トラスト&ホテルリゾーツ株式会社の施設で宿泊部門実習または料飲サービス部門実習</p> <p>120 振り返り</p>				
<p>【使用テキスト／出版社】 インターンシップ受入れ企業 配布レジユメ</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 赴任先教育担当に10項目の5段階評価をいただき、平均3.5以上を優、3.0以上を良、2.0以上を可、2.0未満を不可とする。不可の場合はレポート提出を行い、改善点が客観的かつ具体的に記載されていると認められる場合のみ可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 5

科目名 ブライダル概論		授業の方法 <講義>	担当教員 飯島敬亮	実務経験 有り
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 1 年前期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 ブライダルの基礎知識を身に付ける。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説及びオリジナルプリントの活用。</p> <p>【到達目標】 ブライダルに関する基礎概論を理解する。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 概要 2 ブライダルの基礎① 3 ブライダルの基礎② 4 ブライダルの基礎③ 5 ブライダルの基礎④ 6 ブライダルの基礎⑤ 7 ブライダルの基礎⑥ 8 ブライダルの基礎⑦ 9 ブライダルの基礎⑧ 10 検定対策① 11 検定対策② 12 検定対策③ 13 検定対策④ 14 検定対策⑤ 15 試験 				
<p>【使用テキスト／出版社】 AWPテキスト ／日本ウェディングプランナー・ネットワーク協会</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 6

科目名 ブライダルコーディネーター I		授業の方法 <講義>	担当教員 飯島敬亮	実務経験 有り
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 1 年前期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 ウェディングプランナーの仕事を学ぶ。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説及びオリジナルプリントにより定着度を確認する。</p> <p>【到達目標】 ウェディングプランナーに関する業務の理解。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 概論 2 ウェディングプランナーの仕事① 3 ウェディングプランナーの仕事② 4 ウェディングプランナーの仕事③ 5 ウェディングプランナーの仕事④ 6 ウェディングプランナーの仕事⑤ 7 ウェディングプランナーの仕事⑥ 8 ウェディングプランナーの仕事⑦ 9 ウェディングプランナーの仕事⑧ 10 ウェディングプランナーの仕事⑨ 11 ウェディングプランナーの仕事⑩ 12 ウェディングプランナーの仕事 確認・復習 13 ウェディングプランナーの仕事 確認・復習 14 まとめ 15 試験 				
<p>【使用テキスト／出版社】 ブライダルプランナーテキスト／ウイネット</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 7

科目名 ブライダルコーディネーターⅡ		授業の方法 <講義>	担当教員 飯島敬亮	実務経験 有り										
授業回数 30	単位時間数 60	配当学年時期 1年後期	必修・選択 必修											
<p>【授業の目的・ねらい】 総合的なブライダル知識を身に付ける。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説及びオリジナルプリントにより定着度を確認する。</p> <p>【到達目標】 3級ブライダルコーディネーター技能士合格レベルの知識の習得。</p>														
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>概要</td> </tr> <tr> <td>2～15</td> <td>エキスパート応用</td> </tr> <tr> <td>16～20</td> <td>実技試験対策</td> </tr> <tr> <td>21～29</td> <td>検定総合対策</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>試験</td> </tr> </table>					1	概要	2～15	エキスパート応用	16～20	実技試験対策	21～29	検定総合対策	30	試験
1	概要													
2～15	エキスパート応用													
16～20	実技試験対策													
21～29	検定総合対策													
30	試験													
<p>【使用テキスト／出版社】 ブライダルコーディネーターテキスト ／日本ブライダル文化振興協会</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>												

授 業 概 要

シラバス ID 8

科目名 ブライダルアート		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 小澤陽子	実務経験 有り
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 1年後期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 ブライダル業務に関係するフラワーアレンジメント知識を習得する。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 フラワーアレンジメントの基礎を学ぶとともに、季節の花を使用した演習を行う。</p> <p>【到達目標】 フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、作品制作を通してコーディネート提案を出来るレベルになる。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 フラワーアレンジの基本① 2 フラワーアレンジの応用① 3 フラワーアレンジの基本② 4 フラワーアレンジの応用② 5 フラワーアレンジの基本③ 6 フラワーアレンジの応用③ 7 フラワーアレンジの基本④ 8 フラワーアレンジの応用④ 9 フラワーアレンジの基本⑤ 10 フラワーアレンジの応用⑤ 11 フラワーアレンジの基本⑥ 12 フラワーアレンジの応用⑥ 13 フラワーアレンジの基本⑦ 14 フラワーアレンジの応用⑥ 15 まとめ・試験 				
<p>【使用テキスト／出版社】 オリジナル レジューメ配布</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 9

科目名 ビューティーデザイン		授業の方法 ＜講義・演習＞	担当教員 南条・関	実務経験 有り																														
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 1年後期	必修・選択 必修																															
<p>【授業の目的・ねらい】 社会人・接客業務に関係するメイク、ネイルの知識を習得する。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 メイクはナチュラルメイクを中心にリクルートメイクを、ネイルはネイルケアとデコレートの基本を演習形式で学ぶ。</p> <p>【到達目標】 メイク実践、ネイルの作品制作を通して一般社会人と接客業務の身だしなみの違いが分かるようになる。</p>																																		
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr><td>1</td><td>ヘア・メイク基礎①</td></tr> <tr><td>2</td><td>ヘア・メイク基礎②</td></tr> <tr><td>3</td><td>ヘア・メイク基礎③</td></tr> <tr><td>4</td><td>ヘア・メイク基礎④</td></tr> <tr><td>5</td><td>ヘア・メイク応用①</td></tr> <tr><td>6</td><td>ヘア・メイク応用②</td></tr> <tr><td>7</td><td>ヘア・メイク応用③</td></tr> <tr><td>8</td><td>ヘア・メイクまとめ</td></tr> <tr><td>9</td><td>ネイル ネイル概論</td></tr> <tr><td>10</td><td>ネイル ネイル概論</td></tr> <tr><td>11</td><td>ネイル 自爪のケア</td></tr> <tr><td>12</td><td>ネイル 自爪のケア</td></tr> <tr><td>13</td><td>ネイル ネイルチップ ネイルアート</td></tr> <tr><td>14</td><td>ネイル ネイルチップ ネイルアート</td></tr> <tr><td>15</td><td>試験</td></tr> </table>					1	ヘア・メイク基礎①	2	ヘア・メイク基礎②	3	ヘア・メイク基礎③	4	ヘア・メイク基礎④	5	ヘア・メイク応用①	6	ヘア・メイク応用②	7	ヘア・メイク応用③	8	ヘア・メイクまとめ	9	ネイル ネイル概論	10	ネイル ネイル概論	11	ネイル 自爪のケア	12	ネイル 自爪のケア	13	ネイル ネイルチップ ネイルアート	14	ネイル ネイルチップ ネイルアート	15	試験
1	ヘア・メイク基礎①																																	
2	ヘア・メイク基礎②																																	
3	ヘア・メイク基礎③																																	
4	ヘア・メイク基礎④																																	
5	ヘア・メイク応用①																																	
6	ヘア・メイク応用②																																	
7	ヘア・メイク応用③																																	
8	ヘア・メイクまとめ																																	
9	ネイル ネイル概論																																	
10	ネイル ネイル概論																																	
11	ネイル 自爪のケア																																	
12	ネイル 自爪のケア																																	
13	ネイル ネイルチップ ネイルアート																																	
14	ネイル ネイルチップ ネイルアート																																	
15	試験																																	
<p>【使用テキスト／出版社】 レジュメ配布</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>																																

授 業 概 要

シラバス ID 10

科目名 ブライダル実務 I		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 飯島	実務経験 無し
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 1年通年	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 ブライダル業務に関わる職種・仕事の理解を深める。 現場で活躍するリアルな現状を把握する。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 実務に携わる方々による講義・実演を受け、業界の仕事について学ぶ。</p> <p>【到達目標】 外部の方からの話や体験からでしか学べない実務の現状について理解する。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 業界見学 2 業界見学 3 業界見学 4 業界見学 5 式場 ウェディングプランナーの仕事 A 6 式場 ウェディングプランナーの仕事 A 7 式場 ウェディングプランナーの仕事 B 8 式場 ウェディングプランナーの仕事 B 9 式場 サービススタッフの仕事 10 式場 サービススタッフの仕事 11 衣装 ドレスコーディネーターの仕事 12 衣装 ドレスコーディネーターの仕事 13 衣装 ドレスコーディネート 14 衣装 ドレスコーディネート 15 試験 				
<p>【使用テキスト／出版社】 オリジナル教材</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 11

科目名 外国語 I		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 高須モナ	実務経験 無し																														
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 1年後期	必修・選択 必修																															
<p>【授業の目的・ねらい】 ホテル接客における基礎的な英会話を学ぶ。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストのシチュエーションに合わせた英会話を講師と行い理解を深める。</p> <p>【到達目標】 発音を意識し綺麗な発音を身に着ける。</p>																																		
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr><td>1</td><td>基本英会話①</td></tr> <tr><td>2</td><td>基本英会話②</td></tr> <tr><td>3</td><td>基本英会話③</td></tr> <tr><td>4</td><td>基本英会話④</td></tr> <tr><td>5</td><td>基本英会話⑤</td></tr> <tr><td>6</td><td>基本英会話⑥</td></tr> <tr><td>7</td><td>基本英会話⑦</td></tr> <tr><td>8</td><td>専門英会話①</td></tr> <tr><td>9</td><td>専門英会話②</td></tr> <tr><td>10</td><td>専門英会話③</td></tr> <tr><td>11</td><td>専門英会話④</td></tr> <tr><td>12</td><td>専門英会話⑤</td></tr> <tr><td>13</td><td>専門英会話⑥</td></tr> <tr><td>14</td><td>専門英会話⑦</td></tr> <tr><td>15</td><td>試験</td></tr> </table>					1	基本英会話①	2	基本英会話②	3	基本英会話③	4	基本英会話④	5	基本英会話⑤	6	基本英会話⑥	7	基本英会話⑦	8	専門英会話①	9	専門英会話②	10	専門英会話③	11	専門英会話④	12	専門英会話⑤	13	専門英会話⑥	14	専門英会話⑦	15	試験
1	基本英会話①																																	
2	基本英会話②																																	
3	基本英会話③																																	
4	基本英会話④																																	
5	基本英会話⑤																																	
6	基本英会話⑥																																	
7	基本英会話⑦																																	
8	専門英会話①																																	
9	専門英会話②																																	
10	専門英会話③																																	
11	専門英会話④																																	
12	専門英会話⑤																																	
13	専門英会話⑥																																	
14	専門英会話⑦																																	
15	試験																																	
<p>【使用テキスト／出版社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルのおもてなし英会話 ／日本外国語専門学校国際ホテル科 ・ホテルビジネス／日本ホテル教育センター 		<p>【成績評価の方法・基準】</p> 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は課題提出により可とする。																																

授 業 概 要

シラバス ID 12

科目名 キャリアデザイン I		授業の方法 <講義>	担当教員 飯島敬亮 新妻竜 芹澤理恵	実務経験 有り																		
授業回数 60	単位時間数 120	配当学年時期 1年通年	必修・選択 必修																			
<p>【授業の目的・ねらい】 社会人となるための基本スキル・就職活動を行うために必要な能力の向上と就職活動準備。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説と課題提出。</p> <p>【到達目標】 職場の基礎能力検定の合格と自己PRや志望動機などの就職活動に必要な表現力や、適切な応募書類作成能力を身に付ける。</p>																						
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr><td>1～5</td><td>自己管理力検定</td></tr> <tr><td>6～10</td><td>協調行動力検定</td></tr> <tr><td>11～21</td><td>IT活用力検定</td></tr> <tr><td>22～26</td><td>筆記試験対策</td></tr> <tr><td>27～32</td><td>ガイダンス</td></tr> <tr><td>33～35</td><td>電話対応</td></tr> <tr><td>36</td><td>効果測定</td></tr> <tr><td>37～59</td><td>就職対策</td></tr> <tr><td>60</td><td>海外行動力検定</td></tr> </table>					1～5	自己管理力検定	6～10	協調行動力検定	11～21	IT活用力検定	22～26	筆記試験対策	27～32	ガイダンス	33～35	電話対応	36	効果測定	37～59	就職対策	60	海外行動力検定
1～5	自己管理力検定																					
6～10	協調行動力検定																					
11～21	IT活用力検定																					
22～26	筆記試験対策																					
27～32	ガイダンス																					
33～35	電話対応																					
36	効果測定																					
37～59	就職対策																					
60	海外行動力検定																					
<p>【使用テキスト／出版社】 就職ガイドブック・ノートブック／大原出版 トライアングル手帳／名古屋大原学園 協調行動力検定テキスト／名古屋大原学園 IT活用力検定テキスト／名古屋大原学園</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 効果測定1回目合格で優 効果測定2回目合格で良 効果測定3回目合格で可とする。 効果測定4回目以降は補修を行い、合格基準に達した場合は可。</p>																				

授 業 概 要

シラバス ID 13

科目名 レストランサービスⅢ		授業の方法 <講義>	担当教員 新妻竜	実務経験 無し
授業回数 45	単位時間数 90	配当学年時期 2年前期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 レストランサービス、法律、食品に関する知識を身につけ、ホテルやブライダル業界に就職後職場で実践できるようにする。併せて、レストランサービス技能検定試験3級（筆記）の合格を目指す。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 実務を中心にテキスト・DVD・レクチャーなどで個々にあったトレーニングを行う。</p> <p>【到達目標】 ホテルレストラン業務の基礎を学び、ホスピタリティやサービス知識を身につける。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>1 概要説明 2～6 第1章 確認問題 第2章 接客の基本 7～20 第3章 宴会とレストランサービス 21 第4章 食文化 22～24 第5章 施設管理 25 第6章 苦情対応・遺失物 26～30 第7章 食品衛生および公衆衛生 31～36 第8章 安全衛生 37～59 復習・解説 60 試験</p>				
<p>【使用テキスト／出版社】 西洋料理料飲接客サービス技法 ／日本ホテル・レストランサービス技能協会</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 14

科目名 レストランサービスⅣ		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 新妻竜	実務経験 無し
授業回数 30	単位時間数 60	配当学年時期 2年通年	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 ホテルやレストランで必要とされる料飲サービス技術を身に付け、ホテル・ブライダル業界で即戦力として入社できるよう準備を行う。1年次につけた知識・技術を応用で行う。「身につけた」ことが「出来るようになること」を目指す。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 実技試験課題を時間内に正確に行うため、前半は試験課題の評価ポイントを解説し、実際の動作や所作を確認する。後半は時間計測を行い時間内に的確な実技が行えるように練習する。</p> <p>【到達目標】 レストランサービス技能検定3級実技試験合格レベル。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>1 概要・ランチポイント解説 2～6 HRS2次試験対策 ランチ パート練習 7～15 HRS 2次試験対策 ランチ 総合練習 16～29 HRS 試験課題に合わせ 総合練習 ※模擬コンテスト有 30 試験</p>				
<p>【使用テキスト／出版社】 レストランサービススタンダードマニュアル ／日本ホテル・レストラン技能協会</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 15

科目名 料飲		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 新妻竜	実務経験 無し
授業回数 30	単位時間数 60	配当学年時期 2年前期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 カクテル作成技術を身につけ、人前でのパフォーマンスも意識した料飲サービスを学ぶ</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 基礎知識を身に着けたのち、実務を反復する</p> <p>【到達目標】 オリジナルカクテルを考案し、コンテスト形式でパフォーマンスを披露する。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>1 概要</p> <p>2 カクテルの基礎知識</p> <p>3 カクテルの基礎知識</p> <p>4 器具の取り扱い</p> <p>5～18 カクテルコンテスト企画</p> <p>19～27 カクテルコンテスト準備</p> <p>28～29 会場準備 リハーサル</p> <p>30 コンテスト</p>				
<p>【使用テキスト／出版社】 無し</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 コンテストの評価を基準にする。 80%以上で優、70%以上が良、60%以上を可とする。 60%未満は不可とする。 不可の場合は再度行い60%以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 16

科目名 料飲マネージメント		授業の方法 <講義・演習・実習>	担当教員 新妻竜	実務経験 無し
授業回数 45	単位時間数 90	配当学年時期 2年後期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>模擬店の営業を通じて、入社前に売り上げを出すために必要な「営業」について考える。広告、仕入場所や価格設定、当日運営などを行い「営業」とはどういうことなのかを身を持って経験することにより物やお金の大切さ等学ぶ。併せて、協調力、自主性等身につける。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】</p> <p>『対人』を意識したシミュレーションを行い、店舗営業の準備と運営を行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>営業を通してお客様との接遇、内部管理の重要性を身につける。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>1 概論</p> <p>2～10 企画立案</p> <p>11～12 企画プレゼン</p> <p>13～37 模擬店営業準備・トレーニング</p> <p>38～40 会場準備</p> <p>41～44 模擬店営業</p> <p>45 営業実績評価</p>				
<p>【使用テキスト／出版社】</p> <p>無し</p>		<p>【成績評価の方法・基準】</p> <p>模擬店の企画と内容、営業時の対応評価で成績をつける。2つの成績の合計点が80点以上で優、70点以上で良、60点以上で可とする。不可の場合、達成のための課題作成を行い、改善を見込めるようであれば可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 17

科目名 ブライダルコーディネーターⅡ		授業の方法 <講義>	担当教員 飯島敬亮	実務経験 有り										
授業回数 30	単位時間数 60	配当学年時期 2年後期	必修・選択 必修											
<p>【授業の目的・ねらい】 総合的なブライダル知識を身に付ける。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説及びオリジナルプリントにより定着度を確認する。</p> <p>【到達目標】 3級ブライダルコーディネーター技能士合格レベルの知識の習得。</p>														
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>概要</td> </tr> <tr> <td>2～15</td> <td>エキスパート応用</td> </tr> <tr> <td>16～20</td> <td>実技試験対策</td> </tr> <tr> <td>21～29</td> <td>検定総合対策</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>試験</td> </tr> </table>					1	概要	2～15	エキスパート応用	16～20	実技試験対策	21～29	検定総合対策	30	試験
1	概要													
2～15	エキスパート応用													
16～20	実技試験対策													
21～29	検定総合対策													
30	試験													
<p>【使用テキスト／出版社】 ブライダルコーディネーターテキスト ／日本ブライダル文化振興協会</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、 50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>												

授 業 概 要

シラバス ID 18

科目名 ブライダル総合 I		授業の方法 <演習・実習>	担当教員 飯島敬亮	実務経験 有り
授業回数 75	単位時間数 150	配当学年時期 2年前期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 模擬挙式・食事会を企画・運営を通じて、社会人としての意識を身につけるとともに、課題を乗り越えるためチームワークを身につける。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 使用会場と設定に合わせて進行や演出を自分たちで企画し、その実施に必要な準備をする。後半は当日に向けたシミュレーションを行う。</p> <p>【到達目標】 模擬挙式のオペレーションを学生のみで行えるスキルを身につける。併せて協調力・自主性を身につける。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>1 概要 2～15 企画作成 15～30 企画修正 31～40 情報共有・修正 41～71 本番準備 72～74 本番 75 振り返り・試験</p>				
<p>【使用テキスト／出版社】 無し</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は課題を行い、課題提出で可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 19

科目名 ブライダル総合Ⅱ		授業の方法 <演習・実習>	担当教員 飯島敬亮	実務経験 有り												
授業回数 90	単位時間数 180	配当学年時期 2年後期	必修・選択 必修													
<p>【授業の目的・ねらい】 2年間の集大成として冬の模擬ブライダル運営を通して、ブライダルの実務・運営を身につける。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 使用会場と設定に合わせて進行や演出を自分たちで企画し、その実施に必要な準備をする。後半は当日に向けたシミュレーションを行う。</p> <p>【到達目標】 お客様を招き、挙式・披露宴のオペレーション、フルコースでのサービスを学生のみで行えるようになる。</p>																
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>概要・</td> </tr> <tr> <td>2～15</td> <td>企画作成・修正</td> </tr> <tr> <td>16～40</td> <td>情報共有・製作</td> </tr> <tr> <td>41～86</td> <td>本番準備</td> </tr> <tr> <td>87～89</td> <td>本番</td> </tr> <tr> <td>90</td> <td>振り返り・試験</td> </tr> </table>					1	概要・	2～15	企画作成・修正	16～40	情報共有・製作	41～86	本番準備	87～89	本番	90	振り返り・試験
1	概要・															
2～15	企画作成・修正															
16～40	情報共有・製作															
41～86	本番準備															
87～89	本番															
90	振り返り・試験															
<p>【使用テキスト／出版社】 無し</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は課題を行い、課題提出で可とする。</p>														

授 業 概 要

シラバス ID 20

科目名 ブラダイルプロデュース		授業の方法 <講義>	担当教員 飯島敬亮	実務経験 有り
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 2年後期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 ブライダルに携わるための豊かな表現力やプランナー業務を理解する。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの閲覧やオリジナルプリントを使い、実務の理解を深める。</p> <p>【到達目標】 実施可能な企画・計画を立てられるようになる。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 概要 2 情報収集 3 企画作成① 4 企画作成② 5 企画作成③ 6 企画作成④ 7 中間報告 8 企画作成⑤ 9 企画作成⑥ 10 企画作成⑦ 11 企画作成⑧ 12 プレ発表 13 企画修正① 14 企画修正② 15 企画発表・試験 				
<p>【使用テキスト／出版社】 無し</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、60点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 21

科目名 キャリアデザインⅡ		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 新妻竜	実務経験 有り																
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 2年前期	必修・選択 必修																	
<p>【授業の目的・ねらい】 適切な就職活動を進めるための準備と内定獲得のための自己表現力の向上</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説と演習。</p> <p>【到達目標】 採用試験に合格し、希望する企業の内定を獲得する。</p>																				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr> <td>1～2</td> <td>身だしなみ確認、就職活動スケジュール作成</td> </tr> <tr> <td>3～4</td> <td>就職サポートの活用</td> </tr> <tr> <td>5～6</td> <td>面接練習</td> </tr> <tr> <td>7～8</td> <td>志望企業の研究</td> </tr> <tr> <td>9～10</td> <td>面接練習</td> </tr> <tr> <td>11～12</td> <td>就職試験において必要な資料の作成</td> </tr> <tr> <td>13～14</td> <td>面接練習</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>提出課題作成</td> </tr> </table>					1～2	身だしなみ確認、就職活動スケジュール作成	3～4	就職サポートの活用	5～6	面接練習	7～8	志望企業の研究	9～10	面接練習	11～12	就職試験において必要な資料の作成	13～14	面接練習	15	提出課題作成
1～2	身だしなみ確認、就職活動スケジュール作成																			
3～4	就職サポートの活用																			
5～6	面接練習																			
7～8	志望企業の研究																			
9～10	面接練習																			
11～12	就職試験において必要な資料の作成																			
13～14	面接練習																			
15	提出課題作成																			
<p>【使用テキスト／出版社】 作成資料配布</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 提出課題の達成率に伴い、80%以上で優、70%以上が良、60%以上を可とする。60%未満は不可とする。不可の場合は課題提出とし、記載内容に妥当性・客観性が認められる場合に可とする。</p>																		

授 業 概 要

シラバス ID 22

科目名 サービス接遇		授業の方法 ＜講義＞	担当教員 芹澤理恵	実務経験 有り																						
授業回数 25	単位時間数 50	配当学年時期 1年前期	必修・選択 必修																							
<p>【授業の目的・ねらい】 サービス業界で必要とされる接遇に関する知識を習得し、合わせて社会常識に関する知識も習得する。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説と例題や配布プリントの問題を解かせて解説を行い内容の定着を進める。後半は答案練習時間を設け、試験対策を行う。</p> <p>【到達目標】 サービス接遇検定2級合格レベルの知識を習得し、その受験合格を目指す。</p>																										
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr><td>1・2</td><td>サービススタッフの資質</td></tr> <tr><td>3・4</td><td>サービススタッフの資質</td></tr> <tr><td>5・6</td><td>専門知識</td></tr> <tr><td>7・8</td><td>専門知識</td></tr> <tr><td>9・10</td><td>一般知識</td></tr> <tr><td>11・12</td><td>一般知識</td></tr> <tr><td>13・14</td><td>対人技能</td></tr> <tr><td>15・16</td><td>対人技能</td></tr> <tr><td>17・18</td><td>実務技能</td></tr> <tr><td>19・20</td><td>実務技能</td></tr> <tr><td>21～30</td><td>1・2級実問題集 答案練習</td></tr> </table>					1・2	サービススタッフの資質	3・4	サービススタッフの資質	5・6	専門知識	7・8	専門知識	9・10	一般知識	11・12	一般知識	13・14	対人技能	15・16	対人技能	17・18	実務技能	19・20	実務技能	21～30	1・2級実問題集 答案練習
1・2	サービススタッフの資質																									
3・4	サービススタッフの資質																									
5・6	専門知識																									
7・8	専門知識																									
9・10	一般知識																									
11・12	一般知識																									
13・14	対人技能																									
15・16	対人技能																									
17・18	実務技能																									
19・20	実務技能																									
21～30	1・2級実問題集 答案練習																									
<p>【使用テキスト／出版社】 サービス接遇検定2級公式テキスト ／早稲田教育出版 1・2級実問題集／早稲田教育出版</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 サービス接遇検定2級を受験し、合格は優、2科目中1科目合格は良、2科目不合格の場合、答案練習平均が50%以上は可、50%未満は不可とする。不可の場合は学内再試験を行い50%以上で可とする。</p>																								

授 業 概 要

シラバス ID 23

科目名 ホスピタリティ概論		授業の方法 <講義>	担当教員 芹澤理恵	実務経験 有り																														
授業回数 20	単位時間数 40	配当学年時期 1年通年	必修・選択 必修																															
<p>【授業の目的・ねらい】 ホスピタリティ・マインドを学び、自分なりのホスピタリティ・マインドを意識できるようになる。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストおよびレジュメにて個々のレベルを上げ、グループワークにより対人関係におけるホスピタリティを実践的に学ぶ。</p> <p>【到達目標】 ホスピタリティ検定3級を合格できるレベルに達する。</p>																																		
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr><td>1</td><td>概要</td></tr> <tr><td>2</td><td>ホスピタリティの基本</td></tr> <tr><td>3</td><td>ホスピタリティの基本</td></tr> <tr><td>4</td><td>自分を知る「EQ」と「TA」</td></tr> <tr><td>5</td><td>自分を知る「EQ」と「TA」</td></tr> <tr><td>6</td><td>自分を知る「EQ」と「TA」</td></tr> <tr><td>7</td><td>ホスピタリティ・マナー</td></tr> <tr><td>8</td><td>ホスピタリティ・マナー</td></tr> <tr><td>9</td><td>ホスピタリティ・マナー</td></tr> <tr><td>10</td><td>コミュニケーション</td></tr> <tr><td>11</td><td>コミュニケーション</td></tr> <tr><td>12</td><td>ビジネスとホスピタリティ</td></tr> <tr><td>13</td><td>ビジネスとホスピタリティ</td></tr> <tr><td>14</td><td>期末試験</td></tr> <tr><td>15</td><td>検定試験</td></tr> </table>					1	概要	2	ホスピタリティの基本	3	ホスピタリティの基本	4	自分を知る「EQ」と「TA」	5	自分を知る「EQ」と「TA」	6	自分を知る「EQ」と「TA」	7	ホスピタリティ・マナー	8	ホスピタリティ・マナー	9	ホスピタリティ・マナー	10	コミュニケーション	11	コミュニケーション	12	ビジネスとホスピタリティ	13	ビジネスとホスピタリティ	14	期末試験	15	検定試験
1	概要																																	
2	ホスピタリティの基本																																	
3	ホスピタリティの基本																																	
4	自分を知る「EQ」と「TA」																																	
5	自分を知る「EQ」と「TA」																																	
6	自分を知る「EQ」と「TA」																																	
7	ホスピタリティ・マナー																																	
8	ホスピタリティ・マナー																																	
9	ホスピタリティ・マナー																																	
10	コミュニケーション																																	
11	コミュニケーション																																	
12	ビジネスとホスピタリティ																																	
13	ビジネスとホスピタリティ																																	
14	期末試験																																	
15	検定試験																																	
<p>【使用テキスト／出版社】 実践ホスピタリティ基本コース／ 一般社団法人ホスピタリティ機構 3級公式問題集／一般社団法人ホスピタリティ機構</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 前期は評価試験を実施する。100点満点のうち、80点以上優、70点以上良、60点以上可とする。不可の場合は再試験を行い、60点以上を可とする。後期は検定試験結果により合格を優、55点以上で良、50点以上で可とする。不可の場合は学内試験で60点以上を可とする。</p>																																

授 業 概 要

シラバス ID 24

科目名 コーディネート		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 芹澤理恵	実務経験 無し																																													
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 2年前期	必修・選択 必修																																														
<p>【授業の目的・ねらい】 パーソナルカラーの基礎知識を理解し、ホテル・ブライダル業界で必要とされるカラー配色に関する知識を習得しブライダル業務のスキルアップを図る。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説および問題演習を実施し、回答解説を行う。</p> <p>【到達目標】 色に関する知識を養い、実践的に活用できるようになる。</p>																																																	
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr><td>1</td><td>色彩と文化</td><td>日本の色の歴史</td></tr> <tr><td>2</td><td>色彩と文化</td><td>色の種類</td></tr> <tr><td>3</td><td>色彩理論</td><td>色のしくみ</td></tr> <tr><td>4</td><td>色彩理論</td><td>表色系</td></tr> <tr><td>5</td><td>色彩理論</td><td>配色効果</td></tr> <tr><td>6</td><td>色彩理論</td><td>カラーアンダートーンシステム</td></tr> <tr><td>7</td><td>色彩理論</td><td>色の三属性と対比現象</td></tr> <tr><td>8</td><td>色彩理論</td><td>色の感情効果</td></tr> <tr><td>9</td><td>色彩理論</td><td>アンダートーン配色</td></tr> <tr><td>10</td><td>色彩とファッション</td><td>ファッション概論</td></tr> <tr><td>11</td><td>色彩とファッション</td><td>ブライダルと色彩</td></tr> <tr><td>12</td><td>パーソナルカラーとは</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>パーソナルカラーの特徴</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>問題演習</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>試験</td><td></td></tr> </table>					1	色彩と文化	日本の色の歴史	2	色彩と文化	色の種類	3	色彩理論	色のしくみ	4	色彩理論	表色系	5	色彩理論	配色効果	6	色彩理論	カラーアンダートーンシステム	7	色彩理論	色の三属性と対比現象	8	色彩理論	色の感情効果	9	色彩理論	アンダートーン配色	10	色彩とファッション	ファッション概論	11	色彩とファッション	ブライダルと色彩	12	パーソナルカラーとは		13	パーソナルカラーの特徴		14	問題演習		15	試験	
1	色彩と文化	日本の色の歴史																																															
2	色彩と文化	色の種類																																															
3	色彩理論	色のしくみ																																															
4	色彩理論	表色系																																															
5	色彩理論	配色効果																																															
6	色彩理論	カラーアンダートーンシステム																																															
7	色彩理論	色の三属性と対比現象																																															
8	色彩理論	色の感情効果																																															
9	色彩理論	アンダートーン配色																																															
10	色彩とファッション	ファッション概論																																															
11	色彩とファッション	ブライダルと色彩																																															
12	パーソナルカラーとは																																																
13	パーソナルカラーの特徴																																																
14	問題演習																																																
15	試験																																																
<p>【使用テキスト／出版社】 パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト ／誠文堂新光社</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>																																															

授 業 概 要

シラバス ID 25

科目名 コンピュータ		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 芹澤照之	実務経験 有り																																																																											
授業回数 30	単位時間数 60	配当学年時期 1年通年	必修・選択 必修																																																																												
<p>【授業の目的・ねらい】 ビジネスに必要な Word・Excel の操作能力を磨き Word 文書処理技能検定 3 級・Excel 表計算処理技能認定試験 3 級の合格を目指す。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 独自レジュメによる演習および関連知識や技術の解説。検定試験対策としての模擬試験の実施。</p> <p>【到達目標】 Word 文書処理技能認定試験 3 級、Excel 表計算処理技能認定試験 3 級の合格</p>																																																																															
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="1"> <tr> <td>1・2</td> <td>Word 情報リテラシー</td> <td>24</td> <td>模擬問題 1</td> <td>回答・解説</td> </tr> <tr> <td>3・4</td> <td>練習問題 1</td> <td>25</td> <td>模擬問題 2</td> <td>回答・解説</td> </tr> <tr> <td>5・6</td> <td>練習問題 2</td> <td>26</td> <td>模擬問題 3</td> <td>回答・解説</td> </tr> <tr> <td>7・8</td> <td>練習問題 3</td> <td>27</td> <td>模擬問題 4</td> <td>回答・解説</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>模擬問題 1</td> <td>28</td> <td>模擬問題 5</td> <td>回答・解説</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>模擬問題 2</td> <td>29</td> <td>模擬問題 6</td> <td>回答・解説</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>模擬問題 3</td> <td>30</td> <td colspan="2">Excel 試験</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>模擬問題 4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>模擬問題 5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>模擬問題 6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>Word 試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16・17</td> <td>Excel 情報リテラシー</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>18・19</td> <td>練習問題 1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20・21</td> <td>練習問題 2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>22・23</td> <td>練習問題 3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					1・2	Word 情報リテラシー	24	模擬問題 1	回答・解説	3・4	練習問題 1	25	模擬問題 2	回答・解説	5・6	練習問題 2	26	模擬問題 3	回答・解説	7・8	練習問題 3	27	模擬問題 4	回答・解説	9	模擬問題 1	28	模擬問題 5	回答・解説	10	模擬問題 2	29	模擬問題 6	回答・解説	11	模擬問題 3	30	Excel 試験		12	模擬問題 4				13	模擬問題 5				14	模擬問題 6				15	Word 試験				16・17	Excel 情報リテラシー				18・19	練習問題 1				20・21	練習問題 2				22・23	練習問題 3			
1・2	Word 情報リテラシー	24	模擬問題 1	回答・解説																																																																											
3・4	練習問題 1	25	模擬問題 2	回答・解説																																																																											
5・6	練習問題 2	26	模擬問題 3	回答・解説																																																																											
7・8	練習問題 3	27	模擬問題 4	回答・解説																																																																											
9	模擬問題 1	28	模擬問題 5	回答・解説																																																																											
10	模擬問題 2	29	模擬問題 6	回答・解説																																																																											
11	模擬問題 3	30	Excel 試験																																																																												
12	模擬問題 4																																																																														
13	模擬問題 5																																																																														
14	模擬問題 6																																																																														
15	Word 試験																																																																														
16・17	Excel 情報リテラシー																																																																														
18・19	練習問題 1																																																																														
20・21	練習問題 2																																																																														
22・23	練習問題 3																																																																														
<p>【使用テキスト／出版社】 word 文書処理技能認定試験 3 級問題集 Excel 表計算処理技能認定試験 3 級問題集 ／サーティファイ</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 Word・Excel 各試験の点数の平均が 80 点以上を優とし、65 点以上を良、50 点以上を可とする。50 点未満は不可とする。 不可の場合は学内再試験を行い、50 点以上を可とする。</p>																																																																													

授 業 概 要

シラバス ID 26

科目名 ビジネス実務		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 芹澤理恵	実務経験 有り
授業回数 45	単位時間数 90	配当学年時期 2年後期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 ビジネスマナーについて「知っている、身につけている」から「実際に出来るようになること」 入社後すぐに必要となる実践的な知識や技術を身につけておくこと。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストの解説と状況設定された電話や商品説明、接遇などのロールプレイングを行い、時事問題は小テスト を実施し、ロールプレイングは効果測定を各章ごとに実施する。</p> <p>【到達目標】 ビジネスマナーの基礎知識（職場マナー、挨拶・敬語）を身につけ、電話対応実務、商品説明（内定先企業） がロールプレイング形式のテストで入社2年目のレベルで実践できる。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>1～3 第1編 職場のマナー</p> <p>4～8 第2編 挨拶と敬語 各回敬語テスト</p> <p>9～12 第3編 第4編 電話対応</p> <p>13～15 第5編 接遇マナー</p> <p>16～20 第3編 電話対応 効果測定練習①</p> <p>21～24 第4編 電話対応 効果測定練習②</p> <p>25・26 第3編 第4編 電話対応 効果測定</p> <p>27・28 第8編 商品説明</p> <p>29～34 第8編 商品説明 原稿作成</p> <p>35～37 第8編 商品説明 所作練習</p> <p>38～42 第8編 商品説明効果測定練習</p> <p>43～45 第8編 商品説明効果測定</p>				
<p>【使用テキスト／出版社】 PCPビジネスマナー／大原出版</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 敬語テスト 100点満点中 80点以上、かつ、電話対応・ 商品説明の効果測定を2つとも一回でクリアできれば 優、どちらかが2回目でクリアの場合は良、どちらかが 3回目でクリアの場合は可、それ以外は不可。不可の場 合は課題提出とし、記載内容に妥当性・客観性が認めら れる場合に可とする。</p>		

科目名 ブライダル実務Ⅱ		授業の方法 ＜講義・演習＞	担当教員 片川乃里子	実務経験 有り
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 2年前期	必修・選択 必修	
<p>【授業の目的・ねらい】 コミュニケーション技術を学び、プレゼンテーションや結婚式・披露宴での司会業務に対応できるレベルの能力を身につける。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 プリントや関係する資料を使った解説と演習</p> <p>【到達目標】 コミュニケーション技術を磨き、実践力を身につける。</p>				
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ブライダルで働くことの意義 2 ブライダルのビジネスマナー 3 司会の仕事について 4 発声練習 5 お客様とのコミュニケーション 6 司会者に必要なスキル 7 司会と敬語 8 司会で使う言葉・使ってはいけない言葉 9 新郎新婦のプロフィール作成 10 準備・前日・当日の流れ 11 結婚式、披露宴の進行 12～14 実践 15 評価試験 				
<p>【使用テキスト／出版社】 自作レジュメ</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>		

授 業 概 要

シラバス ID 28

科目名 外国語Ⅱ		授業の方法 <講義・演習>	担当教員 高須モナ	実務経験 無し																														
授業回数 15	単位時間数 30	配当学年時期 2年前期	必修・選択 必修																															
<p>【授業の目的・ねらい】 日常的な会話を学ぶ。</p> <p>【授業期間全体を通じた授業の進め方】 テキストのシチュエーションに合わせた英会話を講師と行い理解を深める。</p> <p>【到達目標】 初歩的な日常英会話ができるようになる。</p>																																		
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <table border="0"> <tr><td>1</td><td>Welcome to Vancouver</td></tr> <tr><td>2</td><td>Ryo Loves San Francisco</td></tr> <tr><td>3</td><td>A British City in Canada?</td></tr> <tr><td>4</td><td>L.A Style</td></tr> <tr><td>5</td><td>The Canadian Rockies</td></tr> <tr><td>6</td><td>The Grand Canyon</td></tr> <tr><td>7</td><td>Tronto, Ontario</td></tr> <tr><td>8</td><td>Big Texas</td></tr> <tr><td>9</td><td>Ottawa - The Capital</td></tr> <tr><td>10</td><td>Funky New Orleans</td></tr> <tr><td>11</td><td>Charming Quebec City</td></tr> <tr><td>12</td><td>Florida Sunshine</td></tr> <tr><td>13</td><td>A Taste of P.E. I</td></tr> <tr><td>14</td><td>Niagara Falls</td></tr> <tr><td>15</td><td>試験</td></tr> </table>					1	Welcome to Vancouver	2	Ryo Loves San Francisco	3	A British City in Canada?	4	L.A Style	5	The Canadian Rockies	6	The Grand Canyon	7	Tronto, Ontario	8	Big Texas	9	Ottawa - The Capital	10	Funky New Orleans	11	Charming Quebec City	12	Florida Sunshine	13	A Taste of P.E. I	14	Niagara Falls	15	試験
1	Welcome to Vancouver																																	
2	Ryo Loves San Francisco																																	
3	A British City in Canada?																																	
4	L.A Style																																	
5	The Canadian Rockies																																	
6	The Grand Canyon																																	
7	Tronto, Ontario																																	
8	Big Texas																																	
9	Ottawa - The Capital																																	
10	Funky New Orleans																																	
11	Charming Quebec City																																	
12	Florida Sunshine																																	
13	A Taste of P.E. I																																	
14	Niagara Falls																																	
15	試験																																	
<p>【使用テキスト／出版社】 English Missions!／金星堂</p>		<p>【成績評価の方法・基準】 評価試験を実施する。 100点満点のうち、80点以上で優、65点以上が良、50点以上を可とする。50点未満は不可とする。 不可の場合は再試験を行い、50点以上を可とする。</p>																																